

平成 24 年 1 月 5 日

報道関係者 各位

平成 24 年 年頭所感

昨年は東日本大震災をはじめ世界中でさまざまな災害が起きた年となりました。未曾有の震災を経て、生命産業である製薬メーカーが果たすべき生産や流通への責務の大きさ、また企業のリスクマネジメントの重要性を再認識することとなりました。

ジェネリック医薬品業界では、専門メーカーに加え、外資・新薬メーカーも次々と参入し、市場が活性化してきたかに見える一方、残念ながら政府目標である「数量シェア 30%」は達成するには至っておりません。医療費を節減し、国民皆保険制度を維持するためにもジェネリック医薬品の普及は喫緊の課題であり、さらなる使用促進策が導入されることを期待しております。

さて、昨年 11 月にアトルバスタチン、ドネペジルといった市場規模の大きな製品を発売いたしました。私ども沢井製薬では「ひとつ上の品質を目指す」を掲げ、錠剤への製品名印字や PTP シートデザインの医療過誤防止策等の工夫に取り組み、これらが 10 年後も当社の主力製品であり続けるよう大切に販売してまいりたいと考えております。

ジェネリック医薬品の普及に伴う急激な需要増にも柔軟に対応できるように、前倒しかつ積極的な設備投資も行っており、本年度末で 60 億錠、さらに来年度末には関東工場（千葉県茂原市）に新製剤工場が完成し 80 億錠もの生産能力を確保する予定です。高品質なジェネリック医薬品を自社製造することにこだわり、万全な安定供給体制をさらに強固なものにしてまいります。

また本日、コーポレートサイトをリニューアルいたしました。使用している薬にジェネリック医薬品が発売されているかを検索できる機能「ジェネリックあるのかな？検索」など、ジェネリック医薬品に関する情報を一層充実させるとともに、ユーザビリティの向上に徹底的にこだわったサイトとなっております。ぜひご活用いただけましたら幸甚に存じます。

沢井製薬は、一般・患者さん、医療従事者等の皆様に選んでいただけるジェネリック医薬品メーカーとなるよう引き続き努めてまいりますので、本年もご支援賜りますようお願い申し上げます。

沢井製薬株式会社
代表取締役社長
澤井 光郎

◆お問い合わせ先◆

沢井製薬株式会社 戦略企画部 広報グループ
TEL : 06-6105-5718 / E-mail : koho@sawai.co.jp